

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の(1)～(6)を具体的に記述または図示する。

(1)施設の機能構成、配置・動線計画等について、次の①～④の観点から配慮したこと

①この建築物が学生にとって建築を学ぶうえで、参考となるような工夫(建築物の教材化)

②セキュリティへの配慮

③学生や教職員の多様性への配慮及びユニバーサルデザイン

④学生感の交流や学生と教員の交流の場

(2)基礎免震構造の外周部のクリアランスの考え方及び安全性について、考慮したこと
(断面詳細等を【イメージ図等記入欄】に記入し、考慮したことを図中に示す。)

【イメージ図等記入欄】

(3)講堂の天井等落下防止対策について考慮したこと

※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のみお書き添えください。

(4)学生・教職員の帰宅困難者の一時滞在に必要な給排水衛生設備、その他計画について配慮したこと

(5)講堂に採用した空調方式と、採用した理由及び配慮したこと

空調方式:

理由及び配慮:

(6)屋上等に設置する次の①～④の設備配置と、その配置とした理由など計画において考慮したこと

(①～④の配置がわかる平面図やイラスト等を全て【イメージ図等記入欄】に記入し、考慮したことを図中に示す。
なお(1)～(5)に記述した内容やその他工夫した天をあわせて記入してもよい)

①太陽光パネル ②キュービクル ③設備配管取出し口(はと小屋) ④空調室外機等

【イメージ図等記入欄】